

久保・長江中学校区の学校再編に係る  
育友会・PTA役員と教育委員会との第4回意見交換会議事録

- 1 日 時 令和5年5月15日（月） 19:00～20:30
- 2 場 所 尾道市役所 2階 多目的スペース1
- 3 出席者 久保小学校 育友会役員 4名、長江小学校 育友会役員 3名  
土堂小学校 育友会役員 4名、山波小学校 育友会役員 5名  
久保中学校 PTA役員 4名、長江中学校 PTA役員 8名  
教育委員会事務局 10名

宮本教育長、川鯨教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長、  
三浦学校経営企画課長、石本教育指導課長、安保学校経営企画課課長補佐、  
石川庶務課管理係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長、玉里庶務課管理係主任

4 進 行

担 当	内 容
教育委員会事務局（教育長）	<p>19:00～</p> <p>○教育長挨拶</p> <p>皆さんこんばんは。この4月に教育長に就任しました宮本佳宏と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>この度は、お仕事等で大変お疲れの中、この意見交換会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私の就任前のことでございますけれども、2月20日に第3回の意見交換会が実施されたというふうに伺っております。また、地域の方では、3月25日に土堂小学校区、3月28日に久保小学校区、3月29日に山波小学校区、そして3月30日に長江小学校区において地域の説明会が開催されまして、教育委員会の再編案についてご説明申し上げまして、多くのご意見をいただいたというふうに聞いております。</p> <p>本日は、地域説明会の状況の報告、また、今後の予定等についてご説明を申し上げ、ご意見を頂戴したいというふうに考えております。</p> <p>また、地域説明会では、小中一貫教育校の教育内容、どんな学校をめざそうとしているのか、どんな教育をしようとしているのか、こういったあたりの説明が不十分だったというふうに思っておりますので、そういっためざす学校像とか、教育内容について、より具体的に教育委員会の方からご説明させていただきたいというふうに思っております。</p> <p>前回の意見交換会から年度も替わりましたので、役員のみなさまも変わっておられるのではないかと思います。初めてお越しいただいた方もいらっしゃると思いますので、これまでの経過やこれまで行った説明につきましても、遠慮なくお尋ねいただきまして、実りのある会になればと考えております。どうぞよろしく願いいたします。</p>

<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>○事務局自己紹介 ○P T A・育友会会長自己紹介</p> <p>続いて、3の協議に移ります。 （1）これまでの経緯について説明いたします。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>これまでの経緯について説明します。資料1をご覧ください。 本日、初めて意見交換会にご参加いただいた役員の方もいらっしゃいますので、昨年11月22日に、尾道市議会議員、役員の皆様、教育委員会の学校再編案をお示しして以降の経緯について、簡単ではありますが、整理をしております。ご確認ください。</p> <p>本日お集まりいただきました、育友会・P T A役員の皆様との意見交換会は、資料1の④⑤⑧にありますように、12月26日に第1回を開催し、これまで、月に1回程度、計3回開催しました。関係する6つの役員の皆様が、学校再編に係る様々な課題を共有することができるとともに、また、貴重なご意見をいただくことができていると考えております。</p> <p>また、保護者の方々に対しては、⑥2月5日、しまなみ交流館にて、関係する6校の保護者、入学予定の保護者の方々を対象に、対面による説明会を行いました。</p> <p>その後、⑨地域の方々へは、保護者の方々へ再編案について一定の説明を行うことができたことから、3月25日から3月30日にかけて、小学校区ごとに、地域説明会を開催し、保護者の方々に説明した内容を基本とし、その後の経緯や今後のスケジュール案等について説明をしました。地域説明会の様子等については、この後、説明させていただきます。</p> <p>（質疑・応答）</p>
<p>長江中学校P T A役員</p>	<p>一点確認したいが、再編についてのこれまでの説明について、根本的な問題として、なぜ再編するのかということについてだが、今回の再編は、耐震化が原因で再編するのか、児童数の減少が原因で再編するのか、はっきりさせたい。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>再編のそもそもの根本的な理由ということだったが、耐震化というのが、議論のスタートというか、きっかけになったということはある。ただ、耐震化について考えて行く中で、児童生徒数の推移を見た時に、</p>

	<p>これまでもご説明申し上げてきたが、やはり減少が見込まれるということで、よりよい教育環境を考えた上で、複数学級をめざすことがふさわしいであろうというふうに考えて、この再編案については、ご説明を申し上げているところである。</p>
<p>長江中学校 P T A 役員</p>	<p>ということは、今回の再編というのは、耐震化、校舎の老朽化が問題ではないということですね。児童生徒の減少が一番の問題で、再編をするということによろしいか。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>はい。やはり子供たちのよりよい教育環境をつくっていききたいという我々の思いで提案させていただいた。</p>
<p>長江中学校 P T A 役員</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p>
<p>長江小学校 P T A 役員</p>	<p>これから地域説明会を含めて、説明をしていただくことになるが、毎回集まって、こういう話が出て、こうしましたという話をいただいているが、教育委員会として答えを出すために、こういう話があったというのは、いい。実際のところ、今年の9月に議会を通さないと前に進まないと言われて、また地域や保護者からこんな話をされましたというのを聞かされても仕方ない。2月の説明会の時にも、我々が次にしなくちゃいけないことや、考えないといけないことについて、指示を出してくださいと言っても、教育委員会から出てこない。また今日も集まって、こんな話し合いをして、こんな答えをしました。きりがないので、まず一つだけ確認させてください。今、教育委員会が出された案が最終か。それに向かって我々は話し合いをするのか、まだ我々が意見を言うことによって、何かが変わるのか、そこを教えていただきたい。当然議会を通すことなので、そうですと言えないかもしれないが、そこを目指しているのか、まだごちゃごちゃと言葉を濁して言っているのか。時間がないので。目標で結構。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>今の教育委員会が出している案が最終なのかどうかという質問だと思うが、まず小中一貫教育校という構想、それと統合の枠組み。4小2中という枠組みで、3つの小学校を新しい小学校に、山波小が単独、2中を統合という、この枠組みについては、今の段階で皆さんにご理解をいただいて、これでやっていきたいと教育委員会として思っている。だが、その中身については、様々な考え方もあると思う。教育内容について</p>

	<p>ては、今日も一つの案として提示させていただきたいが、通学方法であるとか、通学支援の方法であるとか、また教育内容等については、今後皆様のご意見をいただきながら修正、よりよりものにとすることは当然考えていくべきことだとは思いますが、統合再編の枠組みについては、私たちはこの案で皆様のご理解をいただいて、前に向いて進んでいきたいという思いは変わっていない。</p>
<p>長江小学校PTA役員</p>	<p>ありがとうございます。であるならば、もうそこを大前提に、地域からこんなことを言われたよ、ではない。まず統合に向けて、統合を叶えるためだけの話をさせていただいて、その後いわゆる通学路の話とかをしていただければ話は進むが、まだ決まってもないことばかりを提示されて、それこそスクールゾーンを広げますよと。統合の案である長江中学校にもし行かないことになった場合に、スクールゾーンの話をして仕方がない。ですから、あくまでも教育委員会が出された案を変えるつもりがないのであれば、そこを大前提にこれからも話を進めていただきたい。でない、我々もここでいいですよと言っても、結局、育友会総会にかけないと、学校の統廃合は我々も求められない。我々がいいよと言って終わりではない。今度は、学校に持って帰って、総会にかけないと我々は何も言えなくなる。だから、まずそこを目指していただくようにお願いします。</p>
<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>(2) 地域説明会の報告について説明いたします。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>我々は、この提案で進めていきたいと思っているが、この度は、地域説明会の状況について説明させていただきます。</p> <p>先ほど説明しました、地域説明会についてですが、資料2をご覧ください。資料2の縦5に参加された方の数について記載していますが、小学校区ごとに開催し、久保小学校区は32名、長江小学校区は14名、土堂小学校区は84名、山波小学校区は9名、合計139名の方々にご参加いただきました。</p> <p>地域の方からいただきましたご意見やご質問、それに対する回答は、議事録をお配りしておりますので、後でお読みいただければと思います。議事録の内容を非常に簡単にではありますが、主なものについて、資料3に整理をしておりますので、ご覧ください。なお、記載をしていますページ数は、議事録の該当するページを表していますが、同様のご意見を、様々な方からいただいておりますので、そこに記載のページ以</p>

外のページにも、同様のご意見等がありますことを、あらかじめご了解ください。

まず、資料3の縦1、3月25日に行いました土堂小学校区の地域説明会ですが、適正な学校規模の確保について、「デジタル革新の時代においては、小さな学校が点在し、ウェブで授業を共有するような新しい教育が実施できるのではないか。」「複数学級でないによりよい教育環境ではないということか。」「小規模校でも学力は低下しない。」「日比崎小学校区の一部を土堂小学校区に入れればよいのではないか。」「令和10年度に統合小学校でも単一学級が生じるが、どう捉えているか。」「といったご意見やご質問。学校選択制度について、「学校選択制度の利用において、応募が多数あった良い学校を廃止することは考えられない。」「学校選択制度を改めたが、以前の制度が間違いであるなら反省が必要だ。」「といったご意見。小中一貫教育校について、「小中一貫教育はどこの自治体でも行っており、新しいとはいえない。」「検討にあたっての考え方が3点、安全性・耐久性・適正な学校規模の確保が示されたが、これがなぜ小中一貫教育校に結びつくのか。」「今後、市内全体でも小中一貫教育校を目指すのか。」「といったご意見やご質問。安全安心の確保について、「災害が起きた時に、旧土堂小学校の場所であれば、地域が子供を助けに行くことができるが、そういった考えはないのか。」「とのご質問。通学路の安全安心の確保について、「まず長江通りの安全確保を行ってから統合を行うべき。」「小学生に長江通りを歩かせるのは、非常に危険である。」「といったご意見。施設について、「耐震化を取りやめた経緯は何か。」「耐震化は居ながら施工ができないと言っていたが、児童のいない今ならできるではないか。」「コンクリートは100年でも200年でももつと言われている。」「千光寺グラウンド横の体育館の耐震化の進捗状況はどうか。」「新校舎建設には64億という税金が使われる。大きな問題である。」「といったご意見やご質問。地域について、「学校の歴史や伝統についてはどう考えているか。」「というご質問。その他として、「対話のための説明会ではないと感じる。」「教育によって人口を増やそうという考えはないのか。」「地域の半数が回答したアンケートで8割が反対したことについて、どう考えるか。」「といったご意見やご質問をいただきました。

3月28日に行いました久保小学校区の地域説明会ですが、小中一貫教育校について、「小中一貫教育校では、今までの先生が継続して勤務をするのか。」「施設分離型の小中一貫教育校で、教員同士の連携はうまくいくか。」「小中一貫教育校について、もう少し分かりやすく説明してほしい。」「小中一貫教育校では、運動会などの行事は別々に行われる

のか。」といったご意見やご質問。通学支援について、通学支援の具体策のついてのご質問。跡地について、「旧久保小学校の跡地はどうなるのか。」というご質問。その他として、「放課後児童クラブは新しい学校に設置されるのか。」「一クラスあたりの児童数を減らせば複数学級になるが。」というご質問をいただきました。

3月29日に行いました山波小学校区の地域説明会ですが、通学支援について、「久保中学校へ通学する山波地域の生徒が利用する路線バスが、今後混雑することが予想されるが、対策を検討してほしい。」というご要望。通学路の安全安心の確保について、「長江通りの安全対策や、参観日や雨の日の送迎の際にできる渋滞への対策が必要である。」というご意見。地域について、「各地域の文化への思いをもった子供たちへのケアが必要ではないか。」とのご質問。跡地について、「小学校の跡地が売却されるようなことはないのか。」とのご質問をいただきました。

3月30日に行いました長江小学校区の地域説明会ですが、適正な学校規模の確保について、「日比崎小学校から越境を認めての土堂小学校の児童の確保は難しいのか。」「学校選択制を活用して児童数を確保することは考えなかったのか。」といったご質問。小中一貫教育校について、「小中一貫教育校の教育内容は、土堂小学校や長江小学校がやってきたことと同じではないか。」「小中の連携もどこの小中学校でもやっていることではないか。」といったご質問。通学路の安全安心の確保について、長江通りの安全対策については、「新しい学校ができる前に、対策を行ってほしい。」というご要望。新しい学校の施設について、「旧長江小学校校舎は、耐震化できるのではないか。」「現久保中学校や長江中学校の耐震性がある校舎を活用する発想はないか。」「現長江中学校の周回道路も緊急車両が入れるよう整備をしてもらいたい。」土砂災害警戒区域等については、「該当の私有地を譲渡してもらい、擁壁を修理してもらいたい。」「5階建ての新校舎によって、地域の日当たりはどうなるのか。」「工期の短縮はできないか。」「子供たちへの負担は少しでも少なくしたい。」といったご意見やご質問。地域について、「これまで各小学校が培ってきた文化、伝統、歴史についてどう考えているか。」とのご意見。跡地について、「旧長江小学校の校舎は今後どう活用するのか。」「現在の長江中学校校舎は今後も避難所として活用できるか。」といったご質問。その他、「地域への説明はこれで終わりか。」「子供のことを一番に考えて進めてほしい。」「土堂地区以外の保護者の統合に対する反応を知りたい。」「新しい小学校の校舎内の体育館は、これまで通り地域に開放してもらえるか。」といったご意見やご質問をいただき

<p>教育委員会事務局（司会）</p> <p>石本教育指導課長</p>	<p>ました。</p> <p>この後説明いたしますが、第2回目の地域説明会を開催し、今後もご理解をいただくよう努めてまいります。</p> <p>また、ご意見やご質問の中で、多くの地域で挙げられたものが、通学に関するもの、そして、小中一貫教育校の教育内容についてです。特に、小中一貫教育校の教育内容について、様々なご質問をいただきました。通学路の安全安心について、現在の段階でお答えできること、また、小中一貫教育校についてはより具体的に検討をしておりますので、この後、説明をさせていただきます。</p> <p>（質疑・応答）</p> <p>なし</p> <p>（3）小中一貫教育校の教育内容について、説明いたします。</p> <p>これまで育友会・PTA役員と教育委員会との意見交換会や保護者・地域の説明会で説明してきましたとおり、現在提案している新しい学校は、これからの尾道の学校教育をリードする小中一貫教育校です。新しい学校では、「子供たちが切磋琢磨しながら生き生きと学ぶことができる学校」、「子供たちの夢の実現や社会的自立に向けた土台作りのできる学校」を目指し、教育環境や教育内容を整備し、尾道教育のスタンダードとして、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルにしていきたいと考えています。</p> <p>今画面に出ているパンフレットは、これまで説明会等でお示ししているものです。このパンフレットで示している内容については実現できるように検討しています。</p> <p>例えば、「知」確かな学力では、高学年への教科担任制の導入、「徳」豊かな心では、おのみち学、郷土愛の充実、「体」健やかな体では、健康で活力ある児童生徒の育成、「信頼」地域に開かれた学校づくりでは、新たな中学校区をコミュニティ・スクールとし、魅力ある学校にしていきたいと考えています。</p> <p>本日はこれまでの説明会等で質問を多くいただいた、新しい学校の教育内容面について現在構想していることを、「目指す子ども像」「教育資源」「教育内容」の3点について、説明させていただきます。</p> <p>小中一貫教育校の目指す子ども像は、「郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども」と考えています。これは「子供たちが尾道で育ち学</p>
-------------------------------------	---

んでよかったと誇りに思い、自分の可能性に挑戦し、豊かな人生を切り拓いてほしい」という願いを込めています。

9年間の学びで育てる力は、小中一貫教育校の出口を意識し、15歳の生徒に身に付けさせたい力として、広島県教育委員会が、自己実現を図っていくための基礎を義務教育段階で培っていくために設定している力と同様「自己を認識し、人生を選択し、表現できる力」を育みたいと考えています。

また、育てたい資質・能力として、学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性」等、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」等と考えています。これは学習指導要領上示されている資質・能力であり、尾道教育総合推進計画の中でも、尾道の子どもたちに育成すべき資質・能力として掲げているものです。小中一貫教育校においても、これら3つの力をバランスよく育んでいくことが大切だと考えています。

これまで説明した資質・能力等を育成していくため、尾道らしさ、尾道ならではの視点を持って学びの在り方を考えています。そのために、尾道の教育資源である歴史、文化、産業等を確認しておきます。

「歴史から学ぶ」として、港町尾道の誕生と発展です。平安時代の第1期黄金時代では、尾道が年貢米の積出港となり、江戸時代の第2期黄金時代では、北前船の寄港地、西国街道や出雲街道による人と物流の交流点となり、明治時代の第3期黄金時代では、鉄道開通、銀行設立、市制施行等が行われ発展していきました。

「文化・産業から学ぶ」として、魅力ある歴史文化の継承です。囲碁文化、茶文化、石工文化等が発展し歴史的遺産としての国宝や多くの重要文化財があります。祇園祭、山波とんど行事などの祭りも伝統文化として継承されています。また、尾道は3つの「日本遺産」、箱庭的都市尾道、村上海賊、北前船の認定を受けています。

そして現在、未来へ向けて、第4期黄金時代を自分たちが作っていくんだという気概に満ちた、世界とつながるものづくりや日本に誇る農林水産業が行われています。

「先人から学ぶ」として、尾道に誇りを持ち、尾道を愛し、尾道の発展に貢献された、平山角左衛門、三木半左衛門、山口玄洞などの先人や自分の信念を持ちやり抜き、美術界、文学界の発展に貢献された、小林和作、林芙美子などの先人が、まちづくりや芸術文化について導いてこられ現在の尾道の発展につながっています。

このような尾道独自の視点を踏まえた学びを実現していくために



は、次の3つを意識して教育内容を創っていくことが大切であると考えています。

1つ目は、「グローバルな学び」、世界を意識した学びと「ローカルな学び」、尾道という地域を意識した学びを組み合わせることで教育内容を創造していくことです。

2つ目は、「個別最適な学び」、児童生徒が自分の目標や進度にあったやり方で学習を進めたり、自分の興味関心のあるものを選んで学習を進めたりする学びと「協働的な学び」、学級に限らず、異なる学年の児童生徒や地域の人々などと協力しながら、主体的に問題解決していく学びを組み合わせることで、1時間の授業や単元を工夫した教育内容を創造していくことです。

3つ目は、1つ目の「グローバルな学び」「ローカルな学び」と2つ目の「個別最適な学び」「協働的な学び」を組み合わせることで9年間の学びを創造していくことです。

具体的には、「グローバル」な学びの創造として、世界につながる英語教育やキャリア教育を充実していきます。

英語教育では、小学校1年生から外国語活動を導入したいと考えています。1・2年生は週20時間程度、学級担任とALTまたは非常勤講師により授業を展開し、3・4年生の外国語活動につなげていきたいと思っております。早期に導入することにより学ぶ意欲やコミュニケーション能力の向上に繋がることを期待しています。

近隣高等学校と連携することにより、小中学校ともに校内暗唱大会、スピーチコンテスト、ディベート等による表現力の向上が期待できます。

ALTを中学校に常駐させることに加え市教委ALTを小中学校へ派遣することで、小学校では学期に1日程度、英語以外の教科も英語での授業を試みるイングリッシュデーを、中学校では学期に1週間程度、英語以外の教科も英語での授業を試みるイングリッシュウィークが設定できないか考えています。英語以外の教科でも英語に親しむことにより児童生徒の興味・関心高まったり言語能力が育まれたりしていくものと考えています。

また、友好交流都市である台湾嘉義市の小中学校とオンラインによる交流を続けるとともに、英語圏の小中学校とのオンラインによる交流も検討していき、コミュニケーション能力や発信力の向上を目指していきたいと考えています。

グローバルな学びでのキャリア教育では、地元企業や事業所等との連携により職業観、勤労観を育成していきます。

小中学校では、地元企業や事業所等への訪問学習や出前授業を企画、実行し、児童生徒が企業等の技術や、職業人としてのキャリア等を直接学ぶことを繰り返し、視野を広げ夢や志につなげてほしいと考えています。また望ましい職業観、勤労観を育成していきたくと考えています。

次に、「ローカル」な学びの創造として、総合的な学習に時間を核として、ふるさと「尾道」の特色ある伝統や文化を学ぶ「おのみち学」を充実していきます。

これまで各学校で引き継がれてきた伝統である、能、神楽、茶道、太鼓等の教育活動を再構成し教育内容とすることで、郷土を愛する心を育てます。

例えば、新しい小学校では、能や太鼓、山波小学校では神楽、中学校1年生では茶道というように小学校の地域性や児童生徒の発達段階も考慮しながら、礼儀作法を身に付けたり、日本の伝統文化を感じたりすることができるなどの教育内容を創っていきたくと考えています。

ローカルな学びのキャリア教育では、中学校では、地元企業等への職場体験活動や市内の高等学校や尾道市立大学への訪問を通じた進路学習を行い、進路指導の充実を図り社会的自立に向けた力を育てていきます。

また、現在と同様に、小学校4年生で2分の1成人式を、中学校2年生で立志式を実施し、自らの志を立て、これからの人生を逞しく生き抜こうとする自覚・意欲を高めてほしいと考えています。

小学校6年生の2学期には、小学校段階の「おのみち学」等で学んだことを保護者や地域の皆様へ発表する場として、「伝統文化祭」のような発表会の開催を目指したいと考えています。

この画面では、開校2年目の令和8年10月24日に開催となっていますが、令和7年度に実施可能ということになれば開催していくということも考えられます。

小学校では、現在土堂小学校をはじめ市内数校の小学校で実践している、学びの「基礎・基本」を大切にした「モジュール授業」を展開したいと考えています。これまで積み上げてきている土堂小学校の実践を活かし、林芙美子、志賀直哉等の文学作品を取り入れた音読教材や尾道の産業やデータを取り入れた教材の開発ができればと考えています。

次に、9年間の「グローバルな学び」「ローカルな学び」と「個別最適な学び」「協働的な学び」を組み合わせた学びの集大成として、まちづくりへ参画し、商工業、観光、農林水産業、教育、医療、福祉等の視

点から生徒自ら政策を提案していくような教育内容ができないか考えています。

中学校3年生のゴールイメージを中学校1年生の早期に持たせ、学習課題を設定させます。職場体験活動や進路学習も政策提案に向けた学習内容に組み込み、総合的な学習に時間を核とした「おのみち学」を充実させていきたいと考えています。また、これらの学習を通して、15歳の生徒に身に付けさせたい力を育成していきたいと考えています。

中学校3年生の2学期には、9年間の「おのみち学」等で学んだことの集大成を保護者や地域の皆様へ発表する場として、「まちづくり政策提案発表会」のような発表会の開催を目指したいと考えています。

この画面では、開校2年目の令和8年11月20日に開催となっておりますが、令和7年度に実施可能ということになれば開催していくということも考えられます。

スライドでは触れていませんが、中学校の部活動について、今後の休日の地域移行の動向にもよりますが、運動部、文化部の枠を超えて、地域活性化部というような地域に根差し地域を活性化させる目的を持って部活動を構成してみるのもいいのではと考えています。例えば、地域貢献部、伝統文化部、ダンス部等が考えられると思っています。

以上のように、小中一貫教育校の柱になり得る教育内容について提示しました。これらは現段階の検討内容であるため、そのまま実現できるかは分かりませんし、新たなアイデアや考えによって再構成されることもあると思っています。教育委員会としては実現させていきたい内容となっておりますので、皆様方から意見をいただきながら精度を高めていきたいと考えています。また、今後統合に向けての機運が醸成されていけば、6校の教職員の皆さんと教育課程の編成やその教育内容について、これまでのパンフレットの内容や今日提示した内容も含め議論していきたいと考えています。

(質疑・応答)

長江中学校PTA役員

素晴らしい内容だと思うが、ほぼほぼ今やっている内容だと思う。小学校のローカルな学びであったり。そんなことよりも、ぼくがすごく心配しているのは、今の中学校1年生。合併して、例えば3年生、最後の部活をどういう形が出るのか、すごく重要。そっちの議論というか、そっちのことを気にして、早く決定していただきたいというのが一番。ゴールのイメージをとという言葉もあったが、今いる子供たちに早くゴールのイメージをつけてもらいたい。何が問題で前に進まないかという

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>のをはっきりしていただきたい。何で前に進まないか全然分からない。合併の話が。子供たちのために思うと、ゴールのイメージをつくるというのが一番大事だと思うが。この案に関しては素晴らしいと思うが、そんなことよりも合併する今の子供たちのことをもっと見ていただきたいと思う。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>本当に大切な部分のお考えをいただいたと思っている。現に今学校に通っている子供たちにとってみれば、ゴールイメージがもてないということで、不安な日々を過ごしているということも、当然理解できるし、この状況を一日でも早く皆さんにご理解いただいて、新しい学校づくりに進んでいきたいというふうに思っている。本当に中学校にとっては、この前私も市内大会を見に行かせていただいたが、コロナが開けて、一生懸命、私は野球とサッカーを見にいったが、グラウンドいっぱい駆け回っているサッカーの様子を見させていただいたし、保護者の方がたくさん見に来られていて、本当にこの子供たちの状況を見たかったんだなど、必死に応援している姿を見て、私も本当にうれしく思った。そういった部活動、子供たちにとっては中学校3年のこの春の大会、それから夏の大会、本当に重要な意味をもっている。特に春の南部地区大会は全国大会につながっている大会なので、本当に統合してすぐ5月にあるが、部活動がどういった形で行われていくのか、少なくとも本当に統合と言うことになれば、来年度は、もう合同部活動等を仕組みながら進めていかないと、いきなりチームプレーはできないと思うので、そういった細かいことも今後想定しながら、今いろいろ想定して準備はしている。だが、今さまざまなお意見をいただいている中で、まだ前には出せないが、私たちの中では、いつでも開校準備委員会等ができるように、今課題も洗い出しをして、どんな組織だったらうまく進むのかということも様々シミュレーションもさせていただいているので、できるだけ早い段階でみなさまからご理解をいただき、前に進めていきたいということは、本当に思っている。</p>
<p>長江中学校PTA役員</p>	<p>はっきりしておきたいところがある。要は、どの状況になれば、この合併の話はゴーがかかるのか。開校準備委員会は立ち上がるのか。どういう状況になれば、それができるのか、一度ははっきりしておきたい。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>一つのゴールの目安として、9月の議会ということをこれまでも繰り返し申し上げさせていただいている。現在のところは、まだご理解をいただく、私たちの案に理解を示していただいている方もいらっしゃる</p>

	<p>るし、まだ私たちの説明では不十分だと言われる方もいらっしゃる。この後また提示をさせていただくが、6月に全体の保護者説明会や、また4地域を回らせていただいて、私たちの案についてご理解をいただくよう努めていきたいと思う。また、この6月の同じ時期くらいになると思うが、議員のみなさまにも再度説明をさせていただいて、議員のみなさまにもご理解をいただきながら、最終的には議会の了承というか、予算がかかってくることになる、議会を通さないといけないので、当然議員の方々にも説明し、私たちの今の案を理解していただくように、6月のところが最終的と申してよいか分からないが、私たちは勝負の時期だと考えている。</p>
<p>長江中学校PTA役員</p>	<p>ありがとうございます。要は、ここにいる6校の中で、全校が一致しないと前に進まないということか。そうではなくて。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>6校が一致するのがどういう状況か難しいところがある。これはこれまでも言っているところだが、全ての学校が、保護者の方が全員同じ方向に向くというのは、やはりさまざまなご意見がある中で、非常に難しいことだと思っている。ですけれども、最大多い人数を私たちの案についてご理解していただくように、今努力をしているが、今後も続けていきたいと思う。しかしながら、ある程度の時期、目安を決めているので、ある程度の段階で教育委員会として、これは進めていく、議会に議案を提案させていただき、そういったことは判断させていただきたいと思うし、もうそんなに長い時間があるとは思っていない。もう短期間でさまざまな努力をさせていただいて、最終的には、教育委員会としての方向性を決める時期がくるのではないかと考えている。</p>
<p>長江中学校PTA役員</p>	<p>ありがとうございます。おそらく皆さん、いろんな思いがあって、全部正解だと思うが、いろんな正解がある中で、それによって不具合が起きている子供たちがいるという現実。それもじっくり見ておいていただきたい。地域の思いは間違いなく正解。思いはよく分かる。ただ、そこに子供の思いはあるのか。一時期、久保小の場所で合併という話があった。あの時に、とある学校のソフトボール部さんは、一緒になれるんだと喜んでいと聞いた。意外にそういうものなんだと。この前もたまたま瀬戸田のちょうど合併した頃、その時子供だった方、今浦崎のPTAをされている方がいるが、合併してどうだったかという話をした。仲間ができてよかったと。子供はやっぱりそうなんだと。あとは選択の問題だけ。どれだけ地域と保護者が腹を決めて、子供たちのために覚悟</p>

<p>久保小学校育友 会役員</p>	<p>を決めてやっていくかということだけだと思う。ぜひゴールのイメージを早くつくっていただきたいと思うので、よろしくお願いします。</p> <p>今まであまり新しい学校について、思いを巡らせていなかったのも、少し質問をさせてほしい。先生の人数は、今、仮に統廃合があった場合と、どのくらいの人数になるのか気になっている。それから、先ほど説明のあった、中学校の先生が小学校に教えに来たりするというのが、どのくらいの時間数、どういう言い方があるか分からないが、どのくらい行くのか、どのくらい時間があるのかというのを聞きたいと思う。今いろいろ提示してもらったローカルな学びは、学校の先生がするのか、しなければならぬのか、教員免許を持った人がしなければならぬのか、それとも教員免許を持っていない、例えば地域の方だったり、外部講師でもできるのか。それであれば、そういった予算はどこから出さなければならぬのかというのが気になった。たくさんあって申し訳ないが、そもそも私の考え方として、実際今の学校、学校の教育現場で働いている先生は、日々本当に一生懸命やっただいていて、私としては、育友会活動も先生たちの負担を極力減らして、先生が子供たちと向き合う時間を増やしてもらうためにサポートしていきたいというのが、ここ数年会長をさせてもらった思いなのだが、学校の先生の負担、いいことをやろうとすると、必ず誰かが努力しなければならないと思うが、それで先生たちの負担があまり増えるのは好ましくないと思っている。学校の先生の人数が足りないということについても、世間的も学校の教員が足りないということは、報道等もされているし、現実にも各小学校でも、先生が育休に入ったりとか、研修で抜けたりする時に、教育委員会でも探していただいたということもあるのだろうが、管理職の教頭先生や校長先生が探している場合ということもあるかと思う。そういうのも久保小学校でも昨年度聞いたりしたので、そういう中で、学校の先生が当然減るのだと思っている。統廃合すると。なので、減った分、他の学校に先生が回せると言い方がいいのか分からないが、全体としては、同じ子供たちを見るにしても、先生の人数は減らすことができるのではないかと考えているので、そういったところの人数の感じも知りたいと思っているので、質問させてもらった。たくさん言ったので、答えられる範囲でいいのでよろしくお願いします。</p>
<p>三浦学校経営企 画課長</p>	<p>まず教員の数だが、これは法律で決まっていて、学級数を基本として教員の数が決まる。今回、統合、再編ということになったら、学級数が増えるので、その分先生の数が増える。学級担任の数プラスアルファと</p>

いうふうに考えている。ごめんなさい。何人というふうに答えられたらいいのだろうが、ちょっとそこまで今持ち合わせていないので、すみません。それから、乗り入れ授業であるとか、先生の負担が増えてしまったら、それは子供たちにとってもよくないことだろうと我々も考えて、今働き方改革とか、先生たちもやりがいもてるように、子供たちもこの学校で学んで良かったと言えるようにやっているところだが、例えば、地域説明会の中でも、乗り入れ授業がどのくらいできるのかという質問があった。というのが、施設が小学校と中学校で離れているので、その教員の部分とか、負担とかいったご質問もあった。ただ、先ほど教科担任制についての説明もさせていただいたが、子供たちにとって効果が出るものは、この再編を機にやっていきたいというふうに思っている。それから、それプラス、実際に実現できるのかどうか、例えば、教科担任制にすれば、教員が全ての教科の教材研究をする必要がなくなるので、一つの教科に集中できるので、負担が減る。この負担が減るという部分と、例えば、中学校の先生が小学校に行くのであれば、その往復の時間の負担分、これを比べた時に、どういうバランスが取れるのかということ、ちょっと今何時間できますよということ、ここで申し上げられないが、統合に向けて協議を進めていくので、そこで一番よい解を求めていきたいというふうに思っている。それから、ローカルということで、地域学習をする時に、当然これは学校の授業なので、学校の先生が授業をしないといけないが、地域の方々が、今も土堂さんであれ、久保さんであれ、長江さんであれされていると思うが、地域の方がいろんな形で協力してくださって、地域のことを教えてくださるということは、もうやっていると思う。そういった形をどこまで取り入れるかということで、これはぜひ地域に根ざす学校をつくっていくわけなので、やっていきたいと思っている。予算のところだが、今ここでどのくらいの予算かということについては言うことができないが、県の方で地域人材を活用する事業の制度もあるので、そういったことを考えながらいろんなことをやっていきたい。予算については、市の方で予算を立てていくので、学校側が費用を負担するということはない。教員不足というのが、今社会的にも問題になっていて、できる限り、一番子供に迷惑をかけたくないというのがあるので、可能な限り全力を尽くして先生方を探していく。年度当初においては、全ての学校で先生が不足していくという状況は尾道市ではないが、常に学校と連携をとりながら、県と連携をとりながら、子供たちに迷惑がかかることだけは、何と少しでも避けていきたいと思う。ごめんなさい。ちょっと回答になっているかどうか分からないが。

久保小学校育友 会役員	<p>ありがとうございます。さっきの先生が増えるというのは、今の各小学校で言うと、久保小学校と長江小学校と土堂小学校の合計の教員人数よりも、新しい学校の教員人数の方が少ないですよ。今だったら各学校1クラスずつあるが、3クラスあるのが2クラスになるのだから、1人減るという感じですよ。</p>
三浦学校経営企 画課長	<p>はい。</p>
久保小学校育友 会役員	<p>はい。ありがとうございます。</p>
教育委員会事務 局（司会）	<p>（4）通学路の安全対策について、説明いたします。</p>
三浦学校経営企 画課長	<p>地域説明会では、通学路については、主に2点、長江通りの安全確保について、また、山波地域から久保中学校へ通学する生徒が利用する路線バスが今後混雑をしていくのではないかと、というご指摘がありました。</p> <p>長江通りについてですが、4月20日に、長江小学校の育友会長さん、長江小学校の校長、道路管理者である広島県の担当者、尾道警察署の署員、教育委員会とで、長江通りの合同点検を行い、長江通りを通学する児童の安全をより確保するため、何ができるか協議を行いました。その結果、長江三丁目、千光寺方面との交差点において、児童が横断をする際に危険であること、このことについては、道路管理者の広島県が、横断歩道の前後に注意喚起の色を道路に着色すること。長江通りが車道、歩道ともに幅が狭く、車の往来も多いため危険であることについては、道路管理者の広島県が、旧長江小学校前の一番狭い箇所に、注意喚起の表示を行うこと、道路管理者の広島県が、現在、長江通りを北から途中まで引かれているグリーンラインを、長江口近くの2車線になる箇所まで延長すること。について約束をしていただきました。但し、今年度中に施工できるかどうかは、予算等のこともあり、分からないとのこと。また、尾道警察署には、現在、朝の通学時間帯に、一步通行であるところ、適宜取り締まりを行うことにより、自動車の利用者に注意を喚起することを要請しました。</p> <p>山波地域から久保中学校への路線バスについては、今後、バスを利用</p>



	<p>して通学する生徒が増加するのではないか、その結果、バス車内が混雑するのではないかというご不安でしたが、現在、地域別の生徒数によりバスの乗車人数をシミュレーションしているところです。次の保護者説明会と山波地域での地域説明会では、ご説明できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>現長江中学校に創る予定の新しい小学校への路線バスを活用した通学支援についてです。本市では、通学支援を、小学校では学校から3km以上を基準として運用しています。最も遠い土堂小学校区の祇園橋で約2.8km、久保小学校区の尾崎本町の東端で約2.5kmですが、通学する距離や、対象となる学年などシミュレーションし、路線バスを活用した通学支援の可能性を検討しています。</p>
<p>長江小学校育友 会役員</p>	<p>(質疑・応答)</p> <p>今言われたように早くいろんなものを叶えていただきたいというお願いを一つさせていただいて、一つ確認する。今、スクールゾーンに関して、予算がないとおっしゃられた。確かに予算がないのはよく分かるが、子供が第一だと言いながら、しまなみ街道の線をいっぱい引いている。もっと長い距離を。一見さんの観光客のための予算は使えても、子供が宝だとか言いながら、子供になぜ予算をつけてくれないのかというのを、しっかり県の方に訴えていただきたい。予算ができればやりますよと言っても、予算は絶対ない。ですから、観光客も大切。でも、子供が大切だと言うのであれば、そこの交渉は教育委員会の方でしていただくしかないので、ぜひお願いできればと思う。意見ではない。お願いだけ。</p>
<p>三浦学校経営企 画課長</p>	<p>説明が不足していたが、予算がないからできないということではなくて、予算を見ながら時期については審査させていただきますということだった。我々としましても、今おっしゃったように、強くまた要請を繰り返したいと思っている。</p>
<p>土堂小学校育友 会役員</p>	<p>今、通学路のことについてお話いただいたが、さっきの内容について質問しそびれてしまったので、ちょっともう一度戻るが、教育内容についてのところで、土堂小学校育友会でアンケートをとらせてもらった時に、統合しても今後早い段階で複数学級が維持できなくなるということに関して、ご意見をお持ちの方が結構いらっしゃった。令和10年には、1学級になってしまう学年が出てくるが、今市教委さんは、1学年複数学級による教育環境の実現を掲げていらっしゃるが、人数が減</p>

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>つてくるとそれが難しくなる。なので、児童数を増やす取組とか、今後何か考えているか。</p> <p>今後の児童推計によると、やはりどこかの段階で、今少子化の傾向で言いますと1学級になっていく。ただ、今回新しい学校を提案させていただいているので、この学校が、市内の拠点の学校となるということなので、この学校については、当面というか、相当の間、拠点の学校として、人数がどうなっていこうと残っていくということを前提として新しい校舎を建てさせていただくということを提案させていただいている。人数については、今後どうなるか分からない。一つは、前回もどこかで言わせていただいたが、学校選択制度をどうするかというのはある。ただ、過去40人枠でやっていた時というのは、市民の皆様から様々なご意見をいただいた中で、現在見直しをして最大10人、学級の人数がぎりぎりのところだったら5人の場合もあるし、5人でもはまらないところは、一気に10人にしておくとか、単学級にしようとかいうことを今定めている。ですから、1学級の人数のところ、ぎりぎりのところで推移していくと思うので、そういったところで10人枠を設定して2学級になるのかとか、5人枠で入るので5人枠で留めるのか、ちょっとその時の状況にならないと分からないが、一つは、学校選択制度の今の制度の中で、学級が増えるという可能性はあると思っている。あと、これまで校区の見直しというご意見もいただいているが、それについては、繰り返し申し上げているが、今ある校区、卒業生等もおられるし、どこの校区も減少傾向にあるので、減少している地域から切り取って、そこで人数を増やしていくということは、やはり住民感情とか保護者の感情からしても到底受け入れられないと思うので、そういった方法は考えられないというふうに思っている。</p>
<p>土堂小学校育友会役員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>(5) 今後の予定について、説明いたします。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>今後の予定について説明します。</p> <p>第2回保護者説明会を、6月2日18:30から、しまなみ交流館で開催します。内容としては、本日もご説明しました、地域説明会の報告、小中一貫教育校における教育内容について、通学路の安全対策につ</p>

土堂小学校育友 会役員	<p>いての現在までの進捗状況についてご説明し、ご意見を伺っていきたく考えています。また、第2回地域説明会を、記載の日時で開催いたします。保護者説明会と同様の説明を行ってまいります。</p> <p>このスケジュールで動かれて、何か6月議会に通すものというのはあるのか。</p>
三浦学校経営企 画課長	<p>6月議会にこちらからご提案するものはない。ただ、先ほど学校教育部長が言ったように、今回、議員の皆さんも代わっていらっしゃるので、議員説明会を、まだ決まっていないが、そういうことを行って、説明する中でご意見を伺う機会をとっていききたいというのは、当方側では考えているところ。</p>
土堂小学校育友 会役員	<p>それは、保護者説明会と地域説明会が終わってから、議会に説明会をするということか。またブラッシュアップされて、またこういう執行部向けの説明会をされるということか。</p>
三浦学校経営企 画課長	<p>ちょっとまだ議会と相談していないので、はっきり日時は言えないが、そういった感じで進めていきたいと思っている。</p>
土堂小学校育友 会役員	<p>ありがとうございました。</p>
長江小学校育友 会役員	<p>これは依頼なのか、お願いなのかよく分からないが、毎回お聞きする。一時期、食育をあれだけ訴えた教育委員会が、今回、各校から自校の給食をというお願いが出た時に、やはり考えていませんという意見しかない。この件に関しては、一切検討する気はないのかなと。先進的な教育というのに食というのは考えられないのかなと、いつかそのうち答えてください。たぶん今出ない、答えは。ただ、通学路の問題でいろんな話が出たというよりも、それ以上に出たのは、食に関することも出ていた。最初の質問以降、これにお答えいただいていないので、先進的を訴えられるときに一つ案として考えていただくようお願いします。</p>
教育委員会事務 局（司会）	<p>（6）各育友会・P T Aから、報告や、全体を通してのご意見等がございましたら、伺いたいと思います。</p>

長江中学校育友 会役員	今後まだ意見交換会というこの会が行われるのか分からないが、長江中学校は、基本的に教育委員会の案に賛同しているので、次回以降参加しない。
長江小学校育友 会役員	長江小学校としては、一定数反対の保護者の方がいらっしゃるので、私はその方たちのご意見もあるので、その責任をもってこの会に出てこようと思うので、私は、長江小学校としては出席する。
長江小学校育友 会役員	いろいろ今日もお話を聞かせていただいて、教育内容については一歩進んだのか。だいぶ具現化してくださったのだと思うが、久保小さんも言われていたように、先生方の負担が少ないような形がとれるように、うまいこと考えていただきたいと思う。それに併せて開校準備委員会を設立するにしても、校長先生をはじめ、各校の先生方のお時間を頂戴するというようなことになってくると思うので、それがしいては、今ある子供たちの状態に、いくらか作用してくると思うので、その辺の方もお願いしたいと思う。それから、4番目だったか、通学路の安全対策についてだが、今回こういう話になって、長江通りのことが問題視されるようになって、先日も県の方と教育委員会の皆さんと歩かせていただいたが、やはりある程度分かっているが、危ないなというのがすごくある。現状、今長江小学校の子供たちは、あそこを登下校している。なので、できるだけ早く、そういう状況は改善していただきたいと思う。ちょうど本当見に行った時に、夕方だったので、バスが離合したが、どっちがどっちがということになる。そういうところは、ぜひとも県の人にも要請していただいて、今後とも引き続き努力していただきたいと思うので、どうぞよろしく申し上げます。
長江中学校P T A役員	大事なことを言い忘れていた。最短で仮に合併したとして、令和7年度。あと2年後。となると、廃校という形になる。この2年間の中で廃校するにあたって、廃校の事業をしなければいけないと。それににかかる費用であったり、時間であったり、時間がまだ4、5年あればできるものだが、2年という時間、それもまだ何も決定していない。これは、僕たち保護者の力で全部できるはずはない。費用的にも。そもそもこの合併の話、耐震化があろうがなかろうが、もうだいぶ前に計画されていた問題ですよ。特に長江と土堂一緒になるよというのは。それをずっと放置してきたということは、これは誰から見ても教育委員会の落ち度ということは一応認めていただきたい。その中で、現実的な問題として、我々が会員の皆様から預かっている育友会費を使って、廃校の事業

	<p>をする。しかも、来年入ってくる人は意味も分からないのに、廃校準備のお金を使わないといけない。これはおかしい話。それに関する費用の負担というか、援助というのは、教育委員会の方で考えていただきたいと思っている。訳の分からないまま入学したら、廃校の準備をしないといけないというのは、ちょっとおかしい話なので、ぜひこれは9月議会で予算をとっていただいて、そうすれば我々も気兼ねなく廃校の準備ができるので、よろしくをお願いします。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>今、閉校事業に関する予算、お金のことについてだが、これまでに閉校した学校については市の方で予算化してやっている。新年度予算ということになると思うが、その辺はやっていきたいと思う。</p>
<p>長江小学校育友会役員</p>	<p>市の方で用意された過去の例として、どのくらいあったのか。それによって、我々保護者としても子供たちにこんなことをしたいと考えられると思う。ざっくりで結構なので、近々で原田、美木原のあの辺の予算はどのくらいだったか。次回で結構。そこを教えてもらえれば、ちょっとうれしいと思う。</p>
<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>今の質問は次回で。他にありませんでしょうか。</p> <p>長江中学校から、次回参加を見合わせたいとご意見がありましたが、次回の第5回意見交換会についてですが、今後行います保護者説明会、地域説明会の様子や、今後6月議会が開催されますので、それらを踏まえて、今後の予定や方向性等についてご提案するような内容になります。そのため、6月議会が終わった頃に開催したいと考えております。7月初め辺りでさせていただきたいと思います。あと、参加の有無とか、またご確認させていただきますので、どうぞ参加の方、ご検討いただきますようお願いいたします。年度が替わっておりますので、確認ですが、昨年は19時から開催というふうにさせていただいて、今回も19時に開催させていただきましたが、今後も次回19時開催ということでよろしいでしょうか。</p> <p>（参加者うなずく）</p>
<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>では、次回開催は、日程はまだなんですが、時間は19時からとさせていただきます。</p>

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>○閉会挨拶</p> <p>本日もお集まりいただきましてありがとうございます。2月20日以降、約2ヶ月空いていたわけですがけれども、その間の取組について報告させていただくとともに、小中一貫教育校の教育内容や通学路の安全対策の現状について、話をさせていただきました。</p> <p>話の中で、教職員の今後の負担についての懸念というの、多く意見が出されました。私たち、教職員の管理をしている者にしては、非常にありがたい意見をいただいたなというふうに思っております。今後も校長先生をはじめ、教職員のご理解をいただかないと、教育内容面については進みませんので、私たちもぜひ情報提供させていただいたり、教職員とともに新しい教育内容をぜひともつくっていきたく思っております。</p> <p>その教育内容についてですがけれども、今年1月、呉とか府中市、小中一貫教育校を先進的にやっている学校とか、教育委員会に赴いて、制度とか小中一貫教育校の仕組み等について学ばせていただきましたし、この4月の終わりには、広島県立の叡智学園中学・高校に行き、今県がめざしている最先端の教育について、見させていただきました。また、叡智学園については、他の職員もまた行かせていただいて、新しい学びのスタイル等を勉強させていただきたいというふうに思っておりますし、英語教育についても、小学校段階で優れた実践をしている学校がありますので、そういった学校にもチャンスがあれば見に行かせていただきながら、この新しい学校をつくるにあたって、私たちもいろいろなところから情報を得て、いいものをつくりたいというふうに思っております。</p> <p>今日も皆様方から様々なご意見をいただきました。同じことの繰り返しで前に進んでいないというご意見もいただきましたし、再編を進めるにあたって、子供たちを一番に考えていくようなプロセスを図ってもらいたい。教育内容面や部活動、様々な角度からご意見をいただいたと思っております。今日いただいた意見を踏まえまして、今後、司会の方も申しました第2回保護者説明会や地域での2回目の説明会を開催して、多くの方に私たちの新しい学校づくりについて、理解を深めていただくように努力してまいります。</p> <p>私たちとしましては、何度も申し上げますけれども、未来を担う子供たちのために、尾道のモデルとなる小中一貫教育校をぜひ実現させていただきたいと思っております。今日、その決意を新たにさせていただいたと思っております。</p> <p>今日は、第4回意見交換会にお集まりいただき、どうもありがとうございます。</p>
-----------------	--

ございました。

20 : 30 終了